

消 防

1	消防力	344
2	活動状況	347
3	防災対策	349
4	消防団	350
5	職員・団員の処遇	351

▶ 令和8年消防出初式



消 防

複雑多様化する災害や救急需要の増大に対応するため、消防活動及び救急救命体制を強化するほか、火災予防対策を推進するなど、安心安全なまちを目指して、質の高い消防力の強化に取り組んでいる。

令和7年度は、消防総合訓練研修センターに緊急消防援助隊の活動拠点として、資機材や車両を保管・格納するための施設や、大規模災害等が発生したときでも燃料を安定して確保するための自家給油施設の整備にかかる実施設計を進めたほか、水槽付消防ポンプ自動車2台の更新を行うとともに、消防団の消防ポンプ自動車2台、小型動力ポンプ積載車1台を更新し、消防車両の高性能化を図った。

また、迅速・的確な災害対応や医療の早期介入等を図るため、119番映像通報システム及び現場中継システムの効果的な運用に努めた。

救急業務においては、救急救命体制の充実を図るため、高規格救急車2台や自動式心肺蘇生器等を更新し、増加する救急需要に適切に対応するための取組を進めた。

火災予防対策としては、各種媒体を活用した広報により、住宅用火災警報器の維持管理の周知を図るとともに、「少年消防クラブ」の育成をはじめ、「消防スケッチ大会」の開催や「火の用心！シルバー教室」の実施など、幅広い世代に対する防火思想の普及啓発に努めた。

1 消防力

(1) 人員・車両

(令和8.4.1現在)

消 防 職 員		配 置 車 両	
定数 546人	現員数 543人 うち消防吏員 541人	（ポンプ車・はしご車・救急車 他 緊急自動車 消防署 107台 消防団 84台	（その他の 車 両 8台
消防職員 1 人に対する		消防（署）ポンプ自動車 1 台に対する	
人 口	1,062人	人 口	22,183人
世 帯	528世帯	世 帯	11,037世帯
面 積	1.00km ²	面 積	21.06km ²

(2) 人員・車両等内訳

(令和8.4.1現在)

消 防 職 員	人	消 防 車 両 等	台	119番通報に対応するシステム等
消 防 局 長 (正 監)	1	水槽付消防ポンプ車	22	消防緊急通信指令システム
消 防 監	5	消 防 ポ ン プ 車	4	消防救急デジタル無線システム
消 防 司 令 長	26	は し ご 車	3	119番映像通報システム
消 防 司 令	48	屈 折 は し ご 車	1	現 場 中 継 シ ス テ ム
消 防 司 令 補	110	大型化学高所放水車	1	F A X 1 1 9
消 防 士 長	131	化 学 車	1	N e t 1 1 9
消 防 副 士 長	132	泡 原 液 搬 送 車	2	多 言 語 通 訳 業 務
消 防 士	88	水 槽 車	1	市民へ情報提供するシステム
そ の 他 の 職 員	2	救 助 工 作 車	3	テ レ ガ イ ド
		支 援 車	1	安 心 ネ ッ ト ワ ー ク 1 1 9
		資 機 材 搬 送 車	2	
		ミニ消防車・防災車	21	
		指 揮 車	4	
		救 急 車	24	
		災 害 用 二 輪 車	6	
		そ の 他	19	
合 計	543	合 計	115	

(3) 消防水利

(令和8.4.1現在)

消 火 栓	6,738	防 火 水 槽	924 (40m ³ 以上528 40m ³ 未満396)
-------	-------	---------	--

(4) 職員並びに車両配置状況

(令和 8.4.1 現在)

区 分		職員	車 両 配 置								計
			水槽付 ポンプ車	ポンプ車	救 助 工作車	はしご車 (脚式含む)	大型化学 高所放水車	化学車	救急車	その他	
合計	定 数	546									
	現 員 数	543(6)	22	4	3	4	1	1	24	56	115
内 訳	消防本部	総 務 課	22							3	3
		警 防 課	12							1	1
		救 急 課	13						1	1	2
		情 報 管 理 課	21							1	1
		予 防 課	17							4	4
	中央消防署	庶 務 係	3								
		警防第一係	2							3	3
		警防第二係	2								
		予防指導係	7							2	2
		中 央 本 署	39	1	1	1			1	2	6
		南 林 寺	24		1	1			1	2	5
		名 山	13		1					1	2
		上 町	20	1					1	1	3
		吉 野	20	2					2	1	5
		吉 田	15(2)	1					1	1	3
		甲 南	22		1				2	1	4
		桜 島 東	10	1					1	1	3
		桜 島 西	10	1					1	1	3
	西消防署	庶 務 係	3								
		警防第一係	2							3	3
		警防第二係	2								
		予防指導係	2							2	2
		西 本 署	39	1	1	1			2	1	6
		伊 敷	20	1					1	1	3
		明 和	12	2						1	3
		田 上	13	1						1	2
		松 元	15(2)	1					1	1	3
		郡 山	16	1					1	1	3
	南消防署	庶 務 係	3								
		警防第一係	2							3	3
		警防第二係	2								
		予防指導係	3							2	2
		南 本 署	36(2)	2	1	1		1	2	4	11
		南 谷 山	22	1					1	1	3
		谷 山 北	22	1					2	1	4
		脇 田	12	2						2	4
		郡 元	25	1					1	4	6
		喜 入	20	1	1		1		2	2	7

※職員（ ）内の数字は短時間再任用職員の数で外数

2 活動状況

(1) 最近5カ年の火災状況

年 区分		令和3	令和4	令和5	令和6	令和7
出火件数	建物	82	78	96	82	75
	林野	3		2	1	2
	船舶・車両	17	12	19	10	17
	その他	51	35	32	40	29
	計	153	125	149	133	123
り災状況	り災世帯	89	64	84	105	75
	り災人員	189	135	168	214	139
	焼損棟数 (全半焼)	25	22	23	31	31
	建物焼損床面積 (㎡)	2,067	2,129	2,030	2,990	2,343
	林野焼損面積 (a)	139		121	13	15
損害額 (千円)		115,502	80,319	69,384	91,937	55,537

(2) 原因別出火件数

(令和7年中)

原因別	件数	原因別	件数
電気	22	配気管	3
こんろ	16	火入れ	2
たき火	12	火遊び	1
放火 (疑い含む)	11	溶接機・切断機	1
たばこ	10	内燃機関	1
ストーブ	7	炉	1
焼却炉	4	その他	18
灯火	3	不明・調査中	11
		計	123

(3) 予防査察件数

(令和7年度)

対象物 区分	集会場 興業場等	飲食店 遊技場 キャバレー等	マーケット 百貨店等	ホテル 旅館等	共 同 住宅等	幼稚園 福祉施設 病院等	学 校	美術館 図書館等	浴場等	停車場等
対象物数	266	540	602	119	6,348	1,446	209	17	34	7
査察延数	79	196	162	37	1,165	382	114	8	10	0
査察率(%)	30	36	27	31	18	26	55	47	29	0
対象物 区分	神 社 教会等	工 場 作業場等	倉 庫 駐車場等	事業所 その他	複 合 用 途		文化財	アーケード	危険物 関 係	計
					イ	ロ				
対象物数	113	833	822	1,410	2,504	3,035	3	13	1,092	19,413
査察延数	26	206	214	281	949	615	2	0	868	5,314
査察率(%)	23	25	26	20	38	20	67	0	79	27

(4) 救急活動状況

高規格救急車24台（うち非常用救急車6台）

(令和8.4.1現在)

中央本署1台，南林寺1台，上町1台，吉野1台，吉田1台，
甲南1台，桜島東1台，桜島西1台，西本署1台，伊敷1台，
松元1台，配置箇所 郡山1台，南本署1台，谷山1台，谷山北1台，
郡元1台，喜入1台，救急ステーション（市立病院）1台
（非常用：吉野1台，甲南1台，西本署1台，南本署1台，
谷山北1台，喜入1台）

救急隊員 124人

活動状況

(令和7年中)

事故種別 区分	出場件数	搬送件数	搬 送 人 員		
			計	男	女
火 災	77	18	21	13	8
自 然 災 害	4	2	2	2	0
水 難	18	9	10	7	3
交 通 事 故	1,855	1,536	1,654	996	658
労 働 災 害	248	226	226	177	49
運 動 競 技	254	248	253	197	56
一 般 負 傷	5,485	5,136	5,155	2,187	2,968
加 害	126	97	99	58	41
自 損 行 為	337	257	257	80	177
急 病	25,457	22,780	22,816	11,164	11,652
そ の 他	4,218	3,604	3,606	1,689	1,917
合 計	38,079	33,913	34,099	16,570	17,529

3 防災対策

(1) 消防警備対策

建築物の構造，地理水利の状況，消火・延焼・人命危険性等の各要素を消防的見地から総合的に判断し，火災が発生した場合に人命危険性が高く，また，消防警備活動上困難が予想される地域等について，定期的な実態調査のほか，予防査察や訓練を行うとともに，防火指導を実施して関係者や住民の防火意識の高揚を図っている。

(2) 中高層建築物対策

中高層建築物に対する消防体制として，はしご車4台を3署に配置している。また，建築設計のときから安全避難及び救助その他の消防活動等を有効に確保するための指導を行うとともに，定期的に中高層建築物調査や消防警備査察を実施し建物の状況把握に努めている。さらに，消防総合訓練研修センターの高所訓練塔や実際の建物を使用して伸梯訓練や救助訓練等を行うとともに，はしご車等を配置している各署の隊員に対し，はしご車等要員研修を行い，隊員の能力向上を図っている。

4階以上の建築物状況

(令和8.4.1現在)

4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階以上	計
2,973	2,156	588	387	348	193	236	376	7,257

(3) 危険物火災対策

危険物火災対策として大型放水砲車1台，大容量送水車1台，化学消防車1台，大型化学高所放水車1台，化学機能付水槽付消防ポンプ自動車1台，泡原液搬送車2台，資機材搬送車2台及び泡放射器材を装備した車両25台の計34台を配置している。災害規模の大きな非常事態の場合，消防相互応援協定等に基づき，化学消防車及び泡原液搬送車等を集結させる。危険物施設に対しては積極的に消防演習や訓練を実施するとともに，定期的に消火薬剤の放射訓練などを行っている。

油槽所別数量表

(令和8.4.1現在)

区 分	種 別	タンク数	数量 (kl)
谷 山 港 一 ・ 三 丁 目	第一石油類	12	31,868
	第二石油類	11	36,541
	第三石油類	9	21,856
浜 町	第二石油類	1	495
	第三石油類	2	1,600
喜 入	第一石油類	54	7,009,884
	第三石油類	3	381,703
合 計		92	7,483,947

4 消防団

(1) 消防団員の定数及び報酬

(令和 8. 4. 1 現在)

階級 \ 区分	定 数	現員数	報 酬 (年額)
団 長	1人	1人	86,300円
副 団 長	10	10	69,000
分 団 長	76	76	62,200
副 分 団 長	76	76	45,500
部 長	136	116	38,700
班 長	308	259	37,700
団 員	964	900	36,700
学 生 機 能 別 団 員	200	57	8,000
計	1,771	1,495	
そ の 他 報 酬	1 庶務担当者 月額4,800円 2 機関整備担当者 月額3,200円		

上記報酬以外に下記のとおりとする

- ・基本団員の出勤報酬
災害の場合 1日につき8,000円
警戒, 訓練の場合 1日につき7,000円
- ・学生機能別団員の費用弁償
規則で定める職務に従事した場合 1回につき3,500円

(2) 消防団員の年齢 (学生機能別団員除く)

(令和 8. 4. 1 現在)

団員数	18歳以上 20歳未満	20歳以上 25歳未満	25歳以上 30歳未満	30歳以上 35歳未満	35歳以上 40歳未満	40歳以上 45歳未満	45歳以上 50歳未満	50歳以上 55歳未満	55歳以上 60歳未満	60歳以上	平均年齢
1,438人	7	19	53	75	115	204	220	229	160	356	50.4歳

(3) 消防団員の勤続年数 (学生機能別団員除く)

(令和 8. 4. 1 現在)

団員数	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上 35年未満	35年以上	平均勤続 年 数
1,438人	326	273	210	183	153	120	73	100	14.1年

(4) 保有機材

(令和 8. 4. 1 現在)

水槽付消防ポンプ車 2 台, 消防ポンプ車 18 台, 団指令車 1 台, 小型動力ポンプ積載車 61 台, ミニ消防車 (小型動力ポンプ積込) 1 台, 団防災学習車 1 台, 小型動力ポンプ 62 台

5 職員・団員の処遇

(1) 賞じゅつ金等

消防吏員及び団員は、消防業務を遂行するにあたって、危険な場面に遭遇してもその任務を遂行しなければならないが、この職務遂行にあたって、後顧の憂いなく、業務に専念できるようにこの制度が設けられた。職務を遂行したことによって、死亡又は身体に障害が存することとなった場合にこの賞じゅつ金等を支給する。

殉職者特別賞じゅつ金…	1,500万円	
殉職者賞じゅつ金…最高	1,140万円	最低 450万円
障害者賞じゅつ金…最高	900万円	最低 18万円
死亡見舞金…	1,500万円	
障害見舞金…	1,500万円以下	最低 36万円

(注) ① 賞じゅつ金支給対象の場合は、見舞金が併給される。

② 殉職者特別賞じゅつ金を支給する場合は殉職者及び障害者賞じゅつ金は支給しない。

(2) 団員の退職報償金

国の定める基準に従い消防団員退職報償金条例を制定し支給している。

(令和 8. 4. 1 現在)

階 級	勤 務 年 数						
	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上 35年未満	35年以上
団 長	239,000円	344,000円	459,000円	594,000円	779,000円	979,000円	1,079,000円
副 団 長	229,000	329,000	429,000	534,000	709,000	909,000	1,009,000
分 団 長	219,000	318,000	413,000	513,000	659,000	849,000	949,000
副 分 団 長	214,000	303,000	388,000	478,000	624,000	809,000	909,000
部長及び班長	204,000	283,000	358,000	438,000	564,000	734,000	834,000
団 員	200,000	264,000	334,000	409,000	519,000	689,000	789,000